



若中通信

6月号

＜校訓＞ 創造・協調・自律

令和4年6月1日 北九州市立若松中学校長

吉原 治彦

《修学旅行を終えて》

5月23日（月）～25日（水）、奈良県・京都府・兵庫県をめぐる修学旅行を実施しました。3年ぶりとなる関西方面への修学旅行となり、感染症や天候など、さまざまな心配をしながらの行事でしたが、無事に帰校できたことをとても嬉しく思っています。



今回のスローガンは「一期一会・一寸光陰～きょうなら（京奈良）できる最高の思い出 一瞬一瞬を大切に～」。子どもたちは、見学地や宿泊地で出会う人々や建造物などとの出会いを大切にしながら、仲間と過ごす貴重な時間を満喫できたのではないのでしょうか。



また、修学旅行はこれまで培ってきた集団行動や道徳的实践力を発揮する場でもあります。コロナ禍において、これまで様々な行事が中止や縮小され、このような経験の場が少ない学年であるため心配もしていました。しかし、3年生はすべての行程において5分前行動を実践し、学級やグループの和を守りながら活動することができていました。

今後、修学旅行を振り返り、個人や集団としての反省を踏まえて、これからの学校生活をより充実したものにしてくれることを願っています。



今回の修学旅行を実施するにあたり、保護者のみなさまをはじめ、多くの方々にご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



《実行委員長の話》

3日間の修学旅行が終わりました。大きな事故やけがもなく無事に帰ることができたのは、添乗員さんをはじめ関係者のみなさんのご尽力のおかげと先生方のご指導、そして生徒のみなさんの協力のおかげです。感謝申し上げます。私たち3年生は、入学してから今まで大きな行事を行うことができずにいました。この感染防止期間はどの学校にも、どの生徒にもあったことですが、みなさんが日々の取組をしっかりとしてくれたおかげで、数年ぶりの宿泊行事を迎えることができたと思います。この修学旅行では、非常に多くの学びと貴重な体験ができました。今回のスローガンは、「一期一会」「一寸光陰」でした。旅先では金閣や姫路城などとの一期一会を大切にすることができました。また、班の仲間と見学や食べ歩きを楽しむなど一寸光陰を大事に過ごすことができました。私たちにとって、最高の思い出になったと思います。この旅に関わってくださった多くの方々に感謝し、これからの自分たちの目標に向かって突き進んでいきます。

（修学旅行実行委員長）

《あいさつ運動》

本校では、定期考査期間中を除き、毎朝あいさつ運動を実施しています。生徒会役員や各委員会の生徒が中心となって活動しているもので、元気のよいあいさつの声がすがすがしい1日をスタートさせてくれます。



若松中学校区には、校区の小中学生で考えたスローガン「たくさん笑顔輝く学校に～いじめのない「明るい」学校にしよう～」があり、『『あ』あいさつを進んでしよう・『か』考えよう相手の気持ち・『る』ルールを守ろう・『い』いろいろな考えを受け入れよう』という行動目標があります。あいさつは、より良いコミュニケーション、相互理解の第一歩です。あいさつ運動をきっかけに、明るく、気持ちの良いあいさつの声が広がっていくことを期待しています。

《お願い》

- 本校では、気候に応じて適切に衣服を調節することを基本として、夏服と冬服の期間を設定していません。現在、多くの生徒がポロシャツで登校していますが、ベストやセーターを着用している生徒も少なくありません。寒く感じる日は理解もできますが、夏日が続く今、ベストやセーターは必要でしょうか。各地で熱中症による事故が多数報告されています。いま一度、制服の適切な着こなしについてご家庭でもご確認ください。
- 本年度、本市は保健体育科の授業で「水泳」を実施する予定です。学習についての注意点等は授業の中で指導していきますが、体調を整える上できちんとした食事や十分な睡眠は欠かせません。お子様の体調管理にご配慮いただきますようお願いいたします。

【若松中学生徒指導部から】

今年度の生徒指導部のテーマを覚えていますか？『若中 PRIDE～自分を信じる～』です。若松中学校の生徒であることに誇りをもち、自分に自信をもってもらいたいと思いこのテーマにしました。では、自信を高めるためにはどうしたらいいのでしょうか？よく自分に自信をもつには、「結果を出す」「成功する」のが1番などと言われますが、これはあくまでも瞬間的なものです。アメリカの研究では、自分の強みをベースに生きないと常に不安定な状態で自分に自信はもてないということが明らかになっています。

強みは1つだけではなく、3つ見つけて下さい。理由は、1つだけだとそれが折れてしまったとき立ち直れなくなるからです。強みというのは努力して手に入る強みではなく、自分を特徴づける強みであることです。自分の内側にある強みを見つけることが、自信を高める第一のステップです。

自分を特徴づける強みを見つけるには自己分析や人に聞いてみる必要があります。修学旅行や農村民泊体験、ふれあい活動など日常と違う活動は強みを見つけるチャンスです。この6月に自分や仲間の強みを見つけ自分を信じる第一歩にしましょう。

《6月の行事予定》

日	曜	行 事 等	給食	日	曜	行 事 等	給食
1	水	3年 実力テスト	○	16	木	期末考査	×
2	木	歯科検診	○	17	金	期末考査	○
3	金	英検	○			避難訓練・部活動壮行会	
6	月	生徒専門委員会	○	20	月	2年 農泊前日指導	2年×
7	火	内科検診1の2・1の3	○	21	火	1年 ふれあい活動前日指導	1・3年○
8	水	教育相談（～14日）	○			2年 農村民泊体験学習（～23日）	1・2年×
13	月	質問教室（～14日）	○			1年 ふれあい活動	3年○
15	水	期末考査	×	24	金	2年 疲労回復日	2年×
《7月の主な行事》							
5	火	3年 英語村体験		19	火	大掃除	
8	金	生徒総会		20	水	終業式・全校集会	
11	月	ビブリオバトル決勝					
12	火	2年 スクール救命士保護者会（～15日）					

※ 予定は現時点でのものです。コロナウイルス感染状況に変化がある等、状況によって変更になることがありますので、ご了承ください。